

令和2年5月31日

令和2年度 保育所における自己点検・自己評価

【針ヶ谷保育園】

A:たいへんよい  
B:よい  
C:一部検討を要する  
D:改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			園で定めている5項目の保育目標に対し、計画的に実施するように改善を図った。マンネリ化した内容がないか今期はさらに検討を行っていく。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育計画については、乳幼児の実態に即して作成しているが、自園の評価を昨年実施していない為、今年度より反映させていく。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○		
日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			大筋は問題ない。イレギュラー時の対応も懸念なし。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	○				計画は、職員会議で徹底を図っており、実施後には反省会で評価をし改善点を全員で検討している。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			組織としては整っているが、有効的に機能していないところもある。職員の入れ替わりがあり、今後は適材適所を再検討したい。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				会議での全体的な打ち合わせは出来ているが、自発的な相互間の助言は少なく、全体会議で改善を話し合う。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				諸記録の集積は開園当初より出来ているが、自己評価、自園評価については、前年度が初めてであり、今後の継続により効果的な改善点のツールとしたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。				○			
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				交通安全については、散歩経路等の見直しを行った。避難訓練・消火訓練も計画通り実施しており、その都度、問題点を改善するようにしている。	
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			外部研修については、研修報告書に基づき、職員会議で内容を発表している。3園合同の全体会議、リーダー会議も計画的に実施しており、具体的な保育内容について討論を行い、実践にフィードバックしている。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4) 研究の実施による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	○				家庭状況票、緊急連絡簿等は、施錠された所定の場所に保管されている。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				施設内外および遊具・用具の安全点検は計画的に実施されており、指摘に対しては即日、改善するように対応している。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				会計士指導の下に処理している。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				遠足、お年寄り交流会、ハロウィン、地域交流センターでの太鼓演奏、グループ園との交流等を計画的に実施している。また、公園への散歩により他の遊具、お友達と触れ合い、交通ルールの習得を行っている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	地域との交流	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		お年寄り交流会、ハロウィン、地域交流センターでの太鼓演奏等、地域社会との関りを積極的に実施している。併設する子育て支援センターでの活動の中で、園の参観を取り入れていきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○				併設する子育て支援センター、病後児保育室の機能を活かし、支援員、看護師による相談を常時行っている。園庭、保育室等の開放も行っており、夏季は水遊び用のプールを屋上に設置し開放している。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○					
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○					
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○					
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○					
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス掲示物、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。			○		ホームページの更新がされておらず、グループ園単体でのアクセスが可能になるように検討する。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○					
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	今後は、運営・保育に対する第三者の評価を検討していく。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				